

平成27年6月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月7日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 アクシーズ
コード番号 1381 URL <http://www.axvz-grp.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理部長
定時株主総会開催予定日 平成27年9月18日
有価証券報告書提出予定日 平成27年9月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 佐々倉 豊
(氏名) 伊地知 高正
配当支払開始予定日

TEL 099-223-7385
平成27年9月24日

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年6月期の連結業績(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期	17,664	11.6	1,859	190.1	1,934	164.9	1,091	124.7
26年6月期	15,827	7.0	641	128.0	730	78.1	485	86.1

(注) 包括利益 27年6月期 1,123百万円 (133.1%) 26年6月期 482百万円 (64.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
27年6月期	194.29	—	15.1	20.2	10.5
26年6月期	86.48	—	7.5	8.7	4.0

(参考) 持分法投資損益 27年6月期 5百万円 26年6月期 6百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年6月期	10,483	7,747	73.9	1,379.55
26年6月期	8,696	6,693	77.0	1,191.94

(参考) 自己資本 27年6月期 7,747百万円 26年6月期 6,693百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
27年6月期	2,420	△1,031	△75	1,868
26年6月期	713	△813	△70	554

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
26年6月期	—	0.00	—	12.50	12.50	70	14.5	1.1
27年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00	140	12.9	1.9
28年6月期(予想)	—	0.00	—	17.00	17.00	—	—	—

平成27年6月期期末配当金の内訳
普通配当17円 記念配当8円

3. 平成28年6月期の連結業績予想(平成27年7月1日～平成28年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,900	1.3	1,900	2.2	1,960	1.3	1,100	0.8	195.87

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数

27年6月期	5,617,500 株	26年6月期	5,617,500 株
27年6月期	1,461 株	26年6月期	1,440 株
27年6月期	5,616,048 株	26年6月期	5,616,060 株

(参考)個別業績の概要

平成27年6月期の個別業績(平成26年7月1日～平成27年6月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年6月期	15,305	13.0	1,558	319.7	1,643	244.4	945	173.7
26年6月期	13,545	9.7	371	2,317.5	477	320.8	345	380.5

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
27年6月期	168.36	—
26年6月期	61.51	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
27年6月期	7,703	72.9	5,615	72.9	5,615	72.9	999.90	
26年6月期	6,534	72.1	4,712	72.1	4,712	72.1	839.09	

(参考) 自己資本 27年6月期 5,615百万円 26年6月期 4,712百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、財務諸表に対する監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料2ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	4
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
4. 連結財務諸表	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	13
(表示方法の変更)	14
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	18
(重要な後発事象)	18
5. その他	18

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

①当期の経営成績

当連結会計年度におけるわが国経済は、政府の経済政策の効果もあり企業収益や雇用情勢に改善が見られ景気は穏やかな回復基調となっております。その一方、消費税率引き上げ後の個人消費の反動減や輸入品を中心とした物価高騰の影響等によって、引き続き景気の先行きが不透明な状況が続いております。

鶏肉業界におきましては、消費者の国産鶏肉に対するニーズの高まりや他畜種に比べ価格優位性があることから、鶏肉相場は前年に比べ堅調に推移しております。しかしながら、主要コストである飼料用穀物価格、電力料金及び運賃等の単価は引き続き為替相場の円安等の影響もあり高止まりしております。

このような状況の中、当社グループの業績は、売上高176億64百万円(前年同期比11.6%増)となりました。利益面につきましては、営業利益18億59百万円(同190.1%増)、経常利益19億34百万円(同164.9%増)となり、当期純利益は10億91百万円(同124.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

イ. 鶏肉関連

鶏肉関連事業におきましては、肥育部門で生産能力を増強した効果に加え、当社グループ独自の肥育管理システムの改良・更新により、引き続き肥育効率が改善いたしました。

鶏肉加工部門においては、計画的な設備投資と製造工程の見直しにより、出荷数量の増加、製品歩留りの改善及び更なるコスト削減を達成することができました。この結果、売上高は150億1百万円(前年同期比13.3%増)、セグメント利益は、16億30百万円(同256.3%増)となりました。

ロ. 外食

外食事業におきましては、KFC店舗にてキャンペーン商品の販売が好調だったことに加えて、更なる経費削減に努めた結果、売上高は26億63百万円(同2.8%増)、セグメント利益は2億25百万円(同25.1%増)となりました。

②今後の見通し

国内景気の回復基調は今後も継続すると期待されますが、円安による物価上昇等個人消費の低迷等により、先行きに懸念が残る状況にあります。

こうした状況下におきまして、当社グループは安心・安全な鶏肉を消費者にお届けすべく、飼料製造・肥育・加工全ての工程を自社で行う「完全なるインテグレーション」を構築しております。

引き続き、当社製品(薩摩ハーフ悠然どり)の生産能力増強とコスト削減を同時に進めるための設備投資を行い、より強固な経営体質の確立を目指します。

以上により、通期連結業績見通しといたしましては、売上高179億円、営業利益19億円、経常利益19億60百万円、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては11億円を予想しております。

(2) 財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況に関する分析

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末と比べ17億87百万円増加し、104億83百万円となりました。これは、主に現金及び預金が13億13百万円、工具、器具及び備品が6億43百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末と比べ7億33百万円増加し、27億35百万円となりました。これは、主に未払金が3億58百万円、未払法人税等が1億66百万円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末と比べ10億53百万円増加し、77億47百万円となりました。これは、利益剰余金が利益計上により10億20百万円増加したこと等によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況に関する分析

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は18億68百万円となり、前連結会計年度末と比較して13億13百万円増加いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金収支は、24億20百万円の資金増加(前年同期比は7億13百万円の資金増加)となりました。これは、主に税金等調整前当期純利益が18億4百万円、減価償却費が5億19百万円あったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金収支は、10億31百万円の資金減少(前年同期比は8億13百万円の資金減少)となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出が10億95百万円あったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金収支は、75百万円の資金減少(前年同期比は70百万円の資金減少)となりました。これは、主に配当金の支払額が70百万円あったこと等によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成25年6月期	平成26年6月期	平成27年6月期
自己資本比率(%)	77.3	77.0	73.9
時価ベースの自己資本比率(%)	51.1	51.0	122.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.2	0.1	0.0
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	24.2	827.7	2,390.8

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、安定的な経営基盤の確保に努めるための積極的な設備投資と会社の競争力の維持強化を行うとともに、株主の皆様に対する利益還元を経営の最重要政策として位置付けており、業績に裏付けされた成果の配分を行うことを基本方針としております。

なお、内部留保資金については、今後予想される業界他社との競争激化に対処し、今まで以上に生産基盤の強化を行うための生産設備への投資やお客様からより一層の信頼を得るための環境保全ならびに製品品質向上への投資と考えております。

平成27年6月期の期末配当につきましては、上記配当方針に従い、1株当たり25円(普通配当17円、記念配当8円)の配当を実施する予定です。

また、平成28年6月期の期末配当につきましては、普通配当の17円を予定しております。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

平成26年6月期決算短信(平成26年8月1日開示)により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当社決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.axyz-grp.co.jp>

(東京証券取引所ホームページ(上場会社情報検索ページ))

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

(2) 目標とする経営指標

同 上

(3) 中長期的な会社の経営戦略

同 上

(4) 会社の対処すべき課題

同 上

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

4. 連結財務諸表

(1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当連結会計年度 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	564,812	1,878,152
受取手形及び売掛金	1,315,864	1,527,299
製品	226,489	348,459
仕掛品	223,753	277,959
原材料及び貯蔵品	991,777	519,786
繰延税金資産	22,309	13,863
その他	185,433	337,214
貸倒引当金	△325	△373
流動資産合計	3,530,116	4,902,360
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	421,996	450,102
機械装置及び運搬具(純額)	116,289	140,166
工具、器具及び備品(純額)	782,837	1,426,775
土地	2,768,273	2,645,533
建設仮勘定	283,102	173,323
有形固定資産合計	4,372,499	4,835,901
無形固定資産	11,256	7,592
投資その他の資産		
投資有価証券	279,442	334,886
長期貸付金	275,500	206,000
繰延税金資産	42,579	15,442
その他	187,284	183,000
貸倒引当金	△2,204	△1,648
投資その他の資産合計	782,602	737,681
固定資産合計	5,166,358	5,581,175
資産合計	8,696,474	10,483,536

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年6月30日)	当連結会計年度 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	256,854	303,790
1年内償還予定の社債	40,800	—
未払金	1,060,078	1,418,391
未払法人税等	217,067	383,928
繰延税金負債	1,433	9,462
役員賞与引当金	—	11,300
その他	77,293	82,806
流動負債合計	1,653,527	2,209,679
固定負債		
社債	—	35,500
役員退職慰労引当金	111,341	120,072
退職給付に係る負債	185,333	153,469
繰延税金負債	—	164,021
その他	52,276	53,194
固定負債合計	348,951	526,257
負債合計	2,002,479	2,735,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	452,370	452,370
資本剰余金	428,340	428,340
利益剰余金	5,747,448	6,768,385
自己株式	△1,087	△1,113
株主資本合計	6,627,071	7,647,981
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,923	99,618
その他の包括利益累計額合計	66,923	99,618
純資産合計	6,693,995	7,747,600
負債純資産合計	8,696,474	10,483,536

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)
売上高	15,827,902	17,664,227
売上原価	11,388,968	11,740,209
売上総利益	4,438,934	5,924,017
販売費及び一般管理費	3,797,928	4,064,706
営業利益	641,005	1,859,311
営業外収益		
受取利息	4,044	3,573
受取配当金	5,768	4,874
持分法による投資利益	6,425	5,181
補助金収入	2,600	5,091
受取家賃	27,348	27,229
為替差益	18,741	16,102
その他	25,626	16,403
営業外収益合計	90,554	78,456
営業外費用		
支払利息	862	1,012
固定資産除却損	—	1,736
その他	451	382
営業外費用合計	1,314	3,130
経常利益	730,246	1,934,636
特別利益		
固定資産売却益	2,976	—
投資有価証券売却益	27,294	—
補助金収入	19,233	60,166
特別利益合計	49,504	60,166
特別損失		
固定資産除却損	4,009	—
固定資産売却損	276	—
固定資産圧縮損	19,233	60,166
減損損失	—	130,442
特別損失合計	23,519	190,608
税金等調整前当期純利益	756,231	1,804,193
法人税、住民税及び事業税	268,896	516,577
法人税等調整額	1,642	196,477
法人税等合計	270,538	713,055
少数株主損益調整前当期純利益	485,693	1,091,137
当期純利益	485,693	1,091,137

(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	485,693	1,091,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,513	32,694
その他の包括利益合計	△3,513	32,694
包括利益	482,179	1,123,832
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	482,179	1,123,832

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成25年7月1日至平成26年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452,370	428,340	5,331,956	△1,087	6,211,578
当期変動額					
剰余金の配当			△70,200		△70,200
当期純利益			485,693		485,693
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	415,492	—	415,492
当期末残高	452,370	428,340	5,747,448	△1,087	6,627,071

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	70,437	70,437	6,282,016
当期変動額			
剰余金の配当			△70,200
当期純利益			485,693
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,513	△3,513	△3,513
当期変動額合計	△3,513	△3,513	411,978
当期末残高	66,923	66,923	6,693,995

当連結会計年度(自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	452,370	428,340	5,747,448	△1,087	6,627,071
当期変動額					
剰余金の配当			△70,200		△70,200
当期純利益			1,091,137		1,091,137
自己株式の取得				△26	△26
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計			1,020,936	△26	1,020,910
当期末残高	452,370	428,340	6,768,385	△1,113	7,647,981

	その他の包括利益累計額		純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	66,923	66,923	6,693,995
当期変動額			
剰余金の配当			△70,200
当期純利益			1,091,137
自己株式の取得			△26
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	32,694	32,694	32,694
当期変動額合計	32,694	32,694	1,053,605
当期末残高	99,618	99,618	7,747,600

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	756,231	1,804,193
減価償却費	371,884	519,914
減損損失	—	130,442
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△209	△508
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	11,300
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△193,175	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,622	8,731
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	185,333	△31,864
受取利息及び受取配当金	△9,813	△8,448
その他の営業外損益(△は益)	△54,914	△46,605
支払利息	862	1,012
持分法による投資損益(△は益)	△6,425	△5,181
有形固定資産除売却損益(△は益)	1,309	1,736
補助金収入	△19,233	△60,166
固定資産圧縮損	19,233	60,166
投資有価証券売却損益(△は益)	△27,294	—
売上債権の増減額(△は増加)	△207,826	△211,435
たな卸資産の増減額(△は増加)	△479,953	295,816
前払費用の増減額(△は増加)	955	△5,901
その他の流動資産の増減額(△は増加)	495,423	△145,880
その他の固定資産の増減額(△は増加)	324	108
仕入債務の増減額(△は減少)	△127,572	46,936
未払金の増減額(△は減少)	28,473	281,439
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△31,928	8,895
その他の固定負債の増減額(△は減少)	675	3,672
小計	708,984	2,658,374
利息及び配当金の受取額	9,813	8,448
利息の支払額	△862	△1,012
賃貸料の受取額	27,348	27,229
補助金の受取額	19,233	60,166
法人税等の還付額	2,222	—
法人税等の支払額	△80,449	△351,704
その他の収入	28,017	20,885
その他の支出	△451	△2,118
営業活動によるキャッシュ・フロー	713,854	2,420,268

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	△10,000
定期預金の払戻による収入	50,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△937,121	△1,095,217
有形固定資産の売却による収入	15,086	719
有形固定資産の除却による支出	—	△4,150
無形固定資産の取得による支出	△7,175	—
投資有価証券の取得による支出	△7,310	△6,411
投資有価証券の売却による収入	67,477	0
貸付けによる支出	△85,900	△62,800
貸付金の回収による収入	98,700	132,300
敷金及び保証金の差入による支出	△1,243	△1,114
その他の支出	△10	—
その他の収入	4,064	5,289
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813,433	△1,031,384
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	35,500
社債の償還による支出	—	△40,800
自己株式の取得による支出	—	△26
配当金の支払額	△70,283	△70,218
財務活動によるキャッシュ・フロー	△70,283	△75,544
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△169,863	1,313,339
現金及び現金同等物の期首残高	724,676	554,812
現金及び現金同等物の期末残高	554,812	1,868,152

(5) 連結財務諸表に関する注記事項
 (継続企業の前提に関する注記)
 該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

- (1) 連結子会社の数 7社
 (2) 連結子会社の名称
 (株)アクシーズフーズ
 (株)アクシーズケミカル
 錦江湾飼料(株)
 (株)南九州畜産
 (有)求名ファーム
 (株)アイエムポトリー
 (株)城山サービス

2. 持分法の適用に関する事項

- (1) 持分法適用の関連会社の数 1社
 (2) 関連会社の名称
 (有)南九州バイオマス

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社の事業年度は、連結会計年度と同一であります。

4. 会計処理基準に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

イ 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

決算期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定しております)

ロ デリバティブ

時価法

ハ たな卸資産

製品・仕掛品・原材料

主として売価還元法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

貯蔵品

最終仕入原価法

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

イ 有形固定資産

定率法(但し、平成10年4月1日以降に取得した建物(附属設備を除く)については定額法)を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物及び構築物 2～50年

機械装置及び運搬具 2～10年

工具、器具及び備品 2～10年

ロ 無形固定資産

自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

(3) 重要な引当金の計上基準

イ 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

ロ 役員賞与引当金

役員の賞与支給に備えるため、当連結会計年度末における支給見込額に基づき計上しております。

ハ 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給見込額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

退職給付に係る負債及び退職給付費用の計算に、退職給付に係る期末自己都合要支給額を退職給付債務とする方法を用いた簡便法を適用しております。

(会計方針の変更)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当連結会計年度より適用しておりますが、簡便法を適用しているため、退職給付債務及び勤務費用の計算方法に変更はなく、この適用による影響はありません。

(5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、原則として連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

(6) のれんの償却方法及び償却期間

のれんの償却については、その効果の発現する期間にわたって均等償却を行うこととしております。

なお、金額的重要性の乏しい場合には、発生年度の損益として処理することとしています。

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金及び容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっております。

(8) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、「有形固定資産」の「減価償却累計額」は、各資産科目に対する控除科目として独立掲記していましたが、連結貸借対照表の明瞭性を高めるため、当連結会計年度より各資産科目の金額から直接控除して表示し、当該減価償却累計額を注記事項に記載する方法に変更しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「有形固定資産」に表示していた「建物及び構築物」2,516,427千円、「減価償却累計額」△2,094,431千円、「機械装置及び運搬具」596,294千円、「減価償却累計額」△480,004千円、「工具、器具及び備品」3,497,855千円、「減価償却累計額」△2,715,018千円は、「建物及び構築物(純額)」、「機械装置及び運搬具(純額)」、「工具、器具及び備品(純額)」として組替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、業種別のセグメントから構成されており、「鶏肉関連」及び「外食」の2つを報告セグメントとしております。

「鶏肉関連」は主に鶏肉(チルド及びフローズン)や鶏肉に加熱、味付け等を施した加工食品の製造及び販売を行っております。「外食」はケンタッキーフライドチキン及びピザハット店舗のFC事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成25年7月1日至平成26年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,236,892	2,591,010	15,827,902	—	15,827,902
セグメント間の内部売上高又は振替高	273	—	273	△273	—
計	13,237,165	2,591,010	15,828,175	△273	15,827,902
セグメント利益	457,734	180,155	637,889	3,116	641,005
セグメント資産	8,102,774	1,308,205	9,410,979	△714,505	8,696,474
その他の項目					
減価償却費	321,562	38,661	360,223	—	360,223
のれんの償却費	—	11,661	11,661	—	11,661
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	738,157	11,696	749,854	—	749,854

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額3,116千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△714,505千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

当連結会計年度(自平成26年7月1日至平成27年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸表 計上額 (注) 2
	鶏肉関連	外食	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,001,211	2,663,016	17,664,227	—	17,664,227
セグメント間の内部売上高又は振替高	180	—	180	△180	—
計	15,001,391	2,663,016	17,664,407	△180	17,664,227
セグメント利益	1,630,868	225,325	1,856,193	3,117	1,859,311
セグメント資産	8,982,651	1,501,724	10,484,376	△839	10,483,536
その他の項目					
減価償却費	491,077	27,678	518,755	—	518,755
のれんの償却費	—	1,158	1,158	—	1,158
減損損失	130,442	—	130,442	—	130,442
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,215,088	8,412	1,223,500	—	1,223,500

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント利益の調整額3,117千円は、セグメント間取引消去であります。

(2) セグメント資産の調整額△839千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結損益計算書の営業利益と調整しております。

【関連情報】

前連結会計年度(自平成25年7月1日至平成26年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
フードリンク株式会社	4,323,516	鶏肉関連
株式会社ニチレイフレッシュ	4,036,607	鶏肉関連

当連結会計年度(自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦以外の外部顧客への売上高がないため、該当事項はありません。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産がないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位:千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
フードリンク株式会社	5,124,921	鶏肉関連
株式会社ニチレイフレッシュ	4,433,526	鶏肉関連

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	鶏肉関連	外食	計		
当期償却額	—	11,661	11,661	—	11,661
当期末残高	—	1,869	1,869	—	1,869

当連結会計年度(自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	連結財務諸表 計上額
	鶏肉関連	外食	計		
当期償却額	—	1,158	1,158	—	1,158
当期末残高	—	710	710	—	710

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)
1株当たり純資産額	1,191円94銭	1,379円55銭
1株当たり当期純利益金額	86円48銭	194円29銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成25年7月1日 至 平成26年6月30日)	当連結会計年度 (自 平成26年7月1日 至 平成27年6月30日)
当期純利益(千円)	485,693	1,091,137
普通株式に係る当期純利益(千円)	485,693	1,091,137
期中平均株式数(株)	5,616,060	5,616,048

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

役員の異動

(1) 代表取締役の異動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の異動(平成27年9月18日予定)

退任予定取締役候補

取締役 豊留 幸男